増上寺の霊廟は空襲で失われ、英国の国王に贈られた模型が残った

増上寺には、江戸幕府第2代将軍の徳川秀忠をまつる台徳院の霊廟（先祖や偉人の霊をまつる建物）がありました。明治四十三年（1910年）、その十分の一の模型がロンドンの日英博覧会に出され、英国の国王に贈られます。霊廟は1945年の東京の空襲で失われましたが、模型は英国の王室の所蔵品として残りました。

本物の霊廟は失われ、本物が建っているあいだに作られた模型のほうが残ったのです。

Zōjōji had the mausoleum of Taitokuin, where Tokugawa Hidetada, the second shogun of the Edo shogunate, was enshrined. In the forty-third year of Meiji, 1910, a one-tenth model of it was shown at the Japan-British Exhibition in London and presented to the British king. The mausoleum was lost in the bombing of Tokyo in 1945, but the model survived in the British Royal Collection.

The real mausoleum was lost, and the model made while it still stood is what survived.

英国の Royal Collection Trust の記録によると、模型は東京市が注文したものだそうです。日英博覧会に出すためで、本物の霊廟がまだ建っているあいだに作られた、と記録は続けます。博覧会は1910年の5月から10月まで、ロンドンのホワイト・シティで開かれました。文部省の年報には、東京美術学校が東京市の依頼で、台徳院の霊屋の模型を作ったと記録されています。会場の東京市の陳列場では、入口の右に、長さ約二十尺の模型が置かれました。

八月六日、英国の皇帝と皇后が、お忍びで会場を訪れます。そのとき模型の献納を申し上げると、ただちに受け入れられた、と博覧会の事務局の報告に記録されています。英国の側の記録では、模型は博覧会の組織委員会から、国王ジョージ五世に贈られたとされています。東京市では、尾崎行雄市長が市会に諮らずに献納の手続をして、あとで越権（権限を越えること）を陳謝した、と伝えられています。

模型は英国の王室の所蔵品となり、1936年ごろまで、キュー・ガーデンのオランジェリーという建物に展示されました。一方、増上寺の台徳院の霊廟は、1945年5月の東京の空襲で失われます。昭和三十五年（1960年）ごろの港区の写真には、台徳院の霊廟の惣門（寺の外側の門）の奥に、芝ゴルフ練習場が写っています。昭和三十八年（1963年）の国会では、議員が、芝公園の徳川霊廟は「あっという間にゴルフ場になってしまった」と述べました。その練習場はのちに営業を終え、跡地にはザ・プリンスパークタワー東京が開業したと伝えられています。そして2014年、模型は修復と長い展示のため、英国の王室の所蔵品から増上寺へ、長く貸し出されることになりました。増上寺の解説文では、模型は寺の宝物展示室に展示されたと伝えられています。

According to the records of Britain's Royal Collection Trust, the model was commissioned by the City of Tokyo. It was for the Japan-British Exhibition, and was made, the record goes on, while the real mausoleum still stood. The exhibition was held from May to October 1910 at White City in London. The Ministry of Education's annual report records that the Tokyo School of Fine Arts made a model of the Taitokuin mausoleum at the request of the City of Tokyo. In the City of Tokyo's exhibit hall, the model, about twenty shaku long, was placed to the right of the entrance.

On the sixth day of the eighth month, the British King and Queen visited the grounds incognito. The report of the exhibition office records that when the presentation of the model was proposed to the King, it was accepted at once. In the British records, the model was presented to King George V by the Organising Committee of the exhibition. In Tokyo, it is said, Mayor Ozaki Yukio arranged the presentation without consulting the city council, and later apologised for overstepping his authority.

The model became part of the Royal Collection, and until around 1936 it was displayed in the Orangery at Kew Gardens. Meanwhile, the Taitokuin mausoleum at Zōjōji was lost in the bombing of Tokyo in May 1945. A photograph from about the thirty-fifth year of Shōwa, 1960, held by Minato ward, shows the Shiba Golf Range behind the outer gate of the Taitokuin mausoleum. In the Diet in the thirty-eighth year of Shōwa, 1963, a member said that the Tokugawa mausoleum in Shiba Park had very quickly become a golf course. It is said that the range later closed, and that The Prince Park Tower Tokyo opened on the site. Then in 2014 the model was placed on long-term loan from the Royal Collection to Zōjōji, for restoration and long-term display. It is said in Zōjōji's own description that the model went on display in the temple's treasure exhibition room.

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta

S7 イギリスから来たお客様　増上寺・他

お客様用

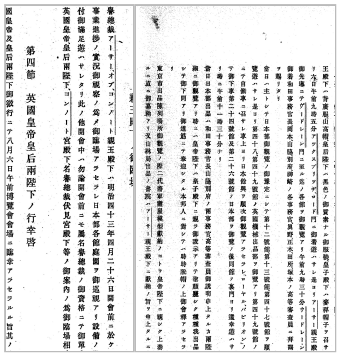
記録の言葉



農商務省編『日英博覧会事務局事務報告』上巻（農商務省、明治45年）

東京市／第四十七號館／陳列場ノ入口ニ門ヲ設ケ右側ニ約長二十尺幅十四尺高五尺五寸大ノ二代將軍靈屋模型ヲ臺上ニ置キ

p.519



農商務省編『日英博覧会事務局事務報告』下巻（農商務省、明治45年）

明治四十三年四月二十六日開會前／英國皇帝及皇后兩陛下御微行ニテ八月六日午前博覽會會場ニ臨幸アラセラルル旨／東京市出品陳列場所御觀覽ノ際ニ代將軍靈屋模型獻納ノコトヲ皇帝陛下ニ親シク上奏シタルニ直ニ御嘉納アリ　p.893～894



文部省編『日本帝国文部省年報』第37（明治42-43年）上下巻（文部省）

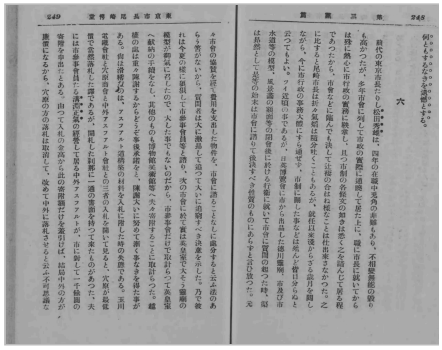
東京美術學校／本年度ニ於テ生徒實驗ノ資ニ供スル爲公私ノ依囑ニ依リ製作ニ從事シタル重ナルモノヲ擧クレハ日英博覽會事務局ノ依囑ニ係ル日英博覽會賣店館入口裝飾用造花及仁王立像二體一式、東京市ノ依囑ニ係ル臺德院靈屋模型及東京市模型各一箇

p.242～243



成島司直等編・経済雑誌社校『続徳川実紀 第2篇』（経済雑誌社、明治38年）

廿四日增上寺／台德院殿靈廟に青山下野守代參し。　p.281



摩天楼『時乃人永遠乃人』（博文館、大正9年）

尾崎市長は／日英博覽會に市から出品した德川靈廟、市及び市水道等の模型／の閉會後に於ける／に就いて市會に質問の起つた時、渠は昂然として是等の始末は市會に諮りて後決すべき性質のものにあらずと言ひ放つた。／次の市會に於て實は英皇室で大そう靈廟の模型が御氣に召したので、大した事でもないのだから、市參事會だけで取計らつて英皇室へ献納の手續をなし、／越權の處は重々陳謝するからどうぞ事後承諾をと、陳謝大いに努めて漸く事なきを得た事がある。　p.248～249

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta

S7 イギリスから来たお客様　増上寺・他

ガイド用 ／ お客様にはお見せしません

増上寺の霊廟は空襲で失われ、英国の国王に贈られた模型が残った

読み上げる文（お客様用の紙と同じもの）

増上寺には、江戸幕府第2代将軍の徳川秀忠をまつる台徳院の霊廟（先祖や偉人の霊をまつる建物）がありました。明治四十三年（1910年）、その十分の一の模型がロンドンの日英博覧会に出され、英国の国王に贈られます。霊廟は1945年の東京の空襲で失われましたが、模型は英国の王室の所蔵品として残りました。

本物の霊廟は失われ、本物が建っているあいだに作られた模型のほうが残ったのです。

Zōjōji had the mausoleum of Taitokuin, where Tokugawa Hidetada, the second shogun of the Edo shogunate, was enshrined. In the forty-third year of Meiji, 1910, a one-tenth model of it was shown at the Japan-British Exhibition in London and presented to the British king. The mausoleum was lost in the bombing of Tokyo in 1945, but the model survived in the British Royal Collection.

The real mausoleum was lost, and the model made while it still stood is what survived.

英国の Royal Collection Trust の記録によると、模型は東京市が注文したものだそうです。日英博覧会に出すためで、本物の霊廟がまだ建っているあいだに作られた、と記録は続けます。博覧会は1910年の5月から10月まで、ロンドンのホワイト・シティで開かれました。文部省の年報には、東京美術学校が東京市の依頼で、台徳院の霊屋の模型を作ったと記録されています。会場の東京市の陳列場では、入口の右に、長さ約二十尺の模型が置かれました。

八月六日、英国の皇帝と皇后が、お忍びで会場を訪れます。そのとき模型の献納を申し上げると、ただちに受け入れられた、と博覧会の事務局の報告に記録されています。英国の側の記録では、模型は博覧会の組織委員会から、国王ジョージ五世に贈られたとされています。東京市では、尾崎行雄市長が市会に諮らずに献納の手続をして、あとで越権（権限を越えること）を陳謝した、と伝えられています。

模型は英国の王室の所蔵品となり、1936年ごろまで、キュー・ガーデンのオランジェリーという建物に展示されました。一方、増上寺の台徳院の霊廟は、1945年5月の東京の空襲で失われます。昭和三十五年（1960年）ごろの港区の写真には、台徳院の霊廟の惣門（寺の外側の門）の奥に、芝ゴルフ練習場が写っています。昭和三十八年（1963年）の国会では、議員が、芝公園の徳川霊廟は「あっという間にゴルフ場になってしまった」と述べました。その練習場はのちに営業を終え、跡地にはザ・プリンスパークタワー東京が開業したと伝えられています。そして2014年、模型は修復と長い展示のため、英国の王室の所蔵品から増上寺へ、長く貸し出されることになりました。増上寺の解説文では、模型は寺の宝物展示室に展示されたと伝えられています。

According to the records of Britain's Royal Collection Trust, the model was commissioned by the City of Tokyo. It was for the Japan-British Exhibition, and was made, the record goes on, while the real mausoleum still stood. The exhibition was held from May to October 1910 at White City in London. The Ministry of Education's annual report records that the Tokyo School of Fine Arts made a model of the Taitokuin mausoleum at the request of the City of Tokyo. In the City of Tokyo's exhibit hall, the model, about twenty shaku long, was placed to the right of the entrance.

On the sixth day of the eighth month, the British King and Queen visited the grounds incognito. The report of the exhibition office records that when the presentation of the model was proposed to the King, it was accepted at once. In the British records, the model was presented to King George V by the Organising Committee of the exhibition. In Tokyo, it is said, Mayor Ozaki Yukio arranged the presentation without consulting the city council, and later apologised for overstepping his authority.

The model became part of the Royal Collection, and until around 1936 it was displayed in the Orangery at Kew Gardens. Meanwhile, the Taitokuin mausoleum at Zōjōji was lost in the bombing of Tokyo in May 1945. A photograph from about the thirty-fifth year of Shōwa, 1960, held by Minato ward, shows the Shiba Golf Range behind the outer gate of the Taitokuin mausoleum. In the Diet in the thirty-eighth year of Shōwa, 1963, a member said that the Tokugawa mausoleum in Shiba Park had very quickly become a golf course. It is said that the range later closed, and that The Prince Park Tower Tokyo opened on the site. Then in 2014 the model was placed on long-term loan from the Royal Collection to Zōjōji, for restoration and long-term display. It is said in Zōjōji's own description that the model went on display in the temple's treasure exhibition room.

お客様にとっての発見

江戸幕府第2代将軍の徳川秀忠をまつる増上寺の霊廟の模型は、明治四十三年（1910年）にロンドンの日英博覧会で英国の国王に贈られ、本物が空襲で失われたあとも英国の王室の所蔵品として残ったと記録されています。イギリスのお客様は、自分の国の王室が持つ模型が、いま立っている寺の失われた霊廟の十分の一の姿であることを見つけます。

語り方のコツ

- **「模型は、日本に返されたのか」と尋ねられたら**

  「返されたとは、記録には書かれていません。英国の王室の所蔵品から、2014年に増上寺へ長く貸し出されたと記録されています」とお答えください。

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta

S7 イギリスから来たお客様　増上寺・他

ガイド用 ／ お客様にはお見せしません

どこまで断定してよいか

断定してよい

模型の製作について

- 東京市は、陳列場の入口の右側に、長さ約二十尺の二代将軍霊屋模型を置いた（農商務省編『日英博覧会事務局事務報告』上巻）
- 文部省の年報は、東京美術学校が東京市の依嘱で臺徳院霊屋模型を作ったと書く（文部省編『日本帝国文部省年報』第37（明治42-43年）上下巻）
- 模型は、台徳院霊廟の正確な十分の一の模型（英国の Royal Collection Trust の所蔵品の記録）
- 東京市が日英博覧会のために注文し、本物の霊廟がまだ建っているあいだに作られた（同）

英国の国王への献納について

- 明治四十三年八月六日、英国の皇帝と皇后がお忍びで来場し、模型の献納を上奏すると、ただちに受け入れられた（農商務省編『日英博覧会事務局事務報告』下巻）
- 英国の記録は、模型が1910年に博覧会の組織委員会から国王ジョージ五世に贈られたとする（英国の Royal Collection Trust の所蔵品の記録）

模型と霊廟のその後について

- 模型は英国の王室の所蔵品となり、1936年ごろまでキュー・ガーデンのオランジェリーに展示された（英国の Royal Collection Trust の所蔵品の記録）
- 2014年、模型は修復と長期の展示のため、王室の所蔵品から増上寺へ長く貸し出された（同）
- 台徳院霊廟は1945年5月の東京の空襲で失われた（同）
- 台徳院殿の霊廟は増上寺にあった（成島司直等編・経済雑誌社校『続徳川実紀 第2篇』）

霊廟の跡のゴルフ場について

- 大竹平八郎議員は、芝公園の徳川霊廟が「あっという間にゴルフ場になってしまった」と述べた（『国会会議録』昭和38年3月25日の参議院予算委員会第四分科会）
- 昭和35年頃、旧台徳院霊廟惣門の奥に芝ゴルフ練習場があった（港区の昔の写真の説明）

「そう伝えられています」と置く

英国の国王への献納について

- 尾崎市長は、市会に諮らずに英皇室へ献納の手続をし、のちに越権を陳謝したと伝えられる（摩天楼『時乃人永遠乃人』）
- 同じ本は、東京市長の名を尾崎行雄とする（同）

模型と霊廟のその後について

- 増上寺の解説文は、模型が2015年に展示されたとする（増上寺「宝物展示室」解説文）

霊廟の跡のゴルフ場について

- 芝ゴルフ場の練習場は2001年9月30日で営業を終えた（ゴルフダイジェスト社の記事）
- 跡地には2005年にザ・プリンスパークタワー東京が開業した（同）

★言わない

- 戦前の霊廟（れいびょう）の姿を、記録に無いことで描かないでください
- ゴルフ場の件で、誰かを責める言い方をしないでください

この物語のもとになった小ネタ

- #165　日英博覧会に東京市が出した二代将軍の霊屋（たまや）の模型は、英国の皇帝に献納された
- #163　増上寺の将軍家の墓地はのちに売られ、芝公園の徳川霊廟はゴルフ場になったと国会で取り上げられた

番号は小ネタの紙の番号です。詳しくは、それぞれの小ネタの紙で。

記録の言葉

ほか引用 15 件は紙に載せていません（2ページに収めるため）

原本の画像を 6 枚載せていません（2ページに収めるため）

お客様用の紙には、原本の画像を 1 枚載せていません（2ページに収めるため）

『国会会議録』第43回国会 参議院予算委員会第四分科会 第1号（昭和38年3月25日）大竹平八郎議員の質疑 一次

> 芝公園の徳川霊廟が、御承知のとおり、最近はあっという間にゴルフ場になってしまった。そういうような歴史的なところが、至るところに、近代スポーツの名により、あるいはまた、いろいろな理屈においてこれが破壊され、また破損されつつあるというような状況を指摘をしたことがあるのですが
> 発言番号297（2026年10月15日閲覧）

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta